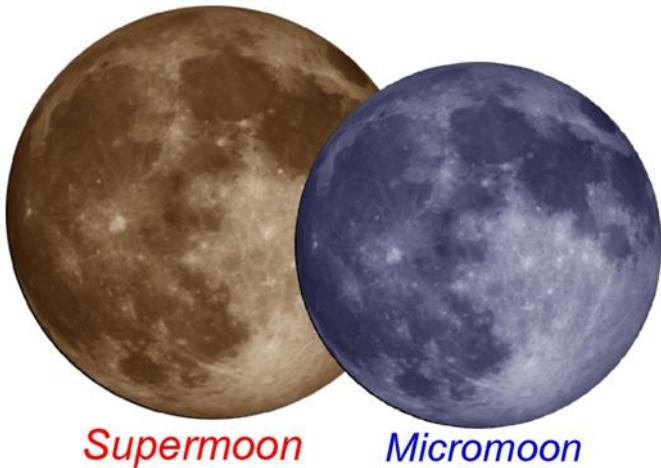


「9月28日(月)のスーパームーン(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

楕円軌道上の月と、地球の距離が最も近い時に見える「スーパームーン」。一体どの程度、大きく見えるのだろうか? 距離から計算すると、最も遠い時の月(これを「マイクロムーン」と呼ぶ)と、スーパームーンの大きさの差(面積比)は13-14%もちがう。図示すると、このようになる。



これだけちがえば、多くの人(観望者)は、「大きい」と実感できるだろう。大きさだけではなく、明るさもちがう。月は、太陽光を反射して光って見えるので、近ければ近いほど明るいのは当然と言える。

満月の平均光度(等級)は約-12.5等である。しかし、同じ満月でも、明るさには30%ものちがいがある。スーパームーンは「大きい」だけでなく「明るい」満月なのだ。

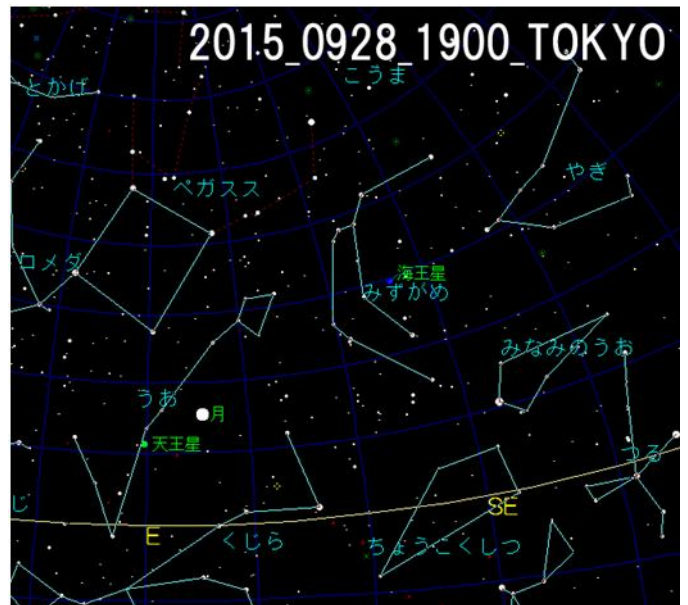
太陽系天体: 月	
赤経, 赤緯:	0h40'16.9", 2°34'25" N
方位, 高度:	107°29'54", 26°46'37" N
出:	17:38 南中:23:58 入: 5:17
赤経, 赤緯:	0h39'28.4", 2°29'14" N ()
位相:	99.8%
視差:	1.024
距離:	357022.7 (km) (221844.2 マイル)
角直径:	0° 33m 44s
赤経, 赤緯:	0h 40m 16s , 2° 34m 24s

「9月28日のスーパームーンのデータ」

“The Sky”で計算。出・南中・入は東京の緯度・経度で計算。方位・高度は20:00で計算。月までの距離は36万kmを切り、位相も99.8%と、まさに「超満月ぶり」を表している。

9月28日(月)の月の出(東京)は17:38と早い。スカイツリーから見れば、その時刻に昇って来るだろう。しかし地上の場合、建物などに邪魔されて、実際の「見ごろ」は19時前後になると思われる。屋上など、少し高い場所なら、絶好の「スーパームーン観望会」になりそうだ。

9月27日(日)は「中秋の名月」である。「中秋の名月」は満月になるとは限らない。今回は、その翌日のスーパームーンを、是非眺めてほしい。



「スーパームーン」の位置図 “The Sky”で計算



「9月28日のスーパームーンの予想図」本校の校庭から見た様子。月の大きさは、強調してある。太陽と同じように、月も地平線近くでは赤っぽく見える。